小野（おの） 綾香（あやか）

「Class Biz.」コーディネータースタッフ
「ひとつぼ」代表

12
-東部-

応募のきっかけは？

30歳の節目でUターンを決意し、東京での移住イベントに参加しました。その時、岩国市出身で首都圏在住の方に出会い、協力隊の募集を知りました。締切の10日前に応募し、イベントから3ヶ月後には協力隊として着任していました。

どんな活動をしたいと思っていましたか？

地域にどっぷり入っていくのが協力隊のイメージでしたが、私の活動は特定の地域に入るのではなく、市内全域で動けるのが面白いと思っていたので、地域の垣根を越えた自由な活動をしたいと考えていました。

隊員時代：取材中

着任してみて、想像と違っていたことはありましたか？

決められたり、与えられた日々の業務がはっきりあるわけではなく、自分で仕事を探す必要がありました。そのため、着任後の1ヶ月間は協力隊として何をすべきか、何を求められているのかが分からず、ただ市の特産品などの資料を読むことしかできずに、とてもつらかったです。

隊員時代の思い出を教えてください

着任して半年後、枯れたハスの繊維で作る織物「喜茄織（きかおり）」に出会ったことが、活動の上での転機になりました。喜茄織と命名させていただいたり、ものづくりに向き合うことを通して、「自分が求められている」と初めて感じることができ、活動そのものが面白くなってきました。また、市内の生産者や事業者を訪問し、話を聞く中での発見も多かったです。いろいろな方とつながっていく感覚も面白かったですね。生産や製造現場の話を聞いたことは、東京のイベントに参加した際、特産品の販売ブースで、お客様にリアリティのある商品の説明につながり、役に立ちました。自分が地元の紹介をできることは嬉しかったです。

コロナ禍となった時には、何かできないかと考えて、岩国ブランドの認知度アップとその魅力をもっと知ってもらうために「岩国ブラント魅力浸透プロジェクト」を開始し、取材をもとに「岩国ブランドカード」や「岩国ブランドブック」を作成しました。

現在、そしてこれからについて

卒業後、岩国しごと交流・創業スペース「Class Biz.」のコーディネータースタッフになりました。現在は娘を授かり、母親業に専念していますが、子育てと仕事のバランスを取りながら、特産品に関わる個人事業「ひとつぼ」を軌道に乗せたいです。生産者の手助けをし、商品を通して岩国市内外にこの街のファンを増やしていきたいです。

「Class Biz.」にて▲

協力隊を目指す人や後輩に伝えたいこと

受入先などと、しっかりコミュニケーションをとった上で、自身の強みを生かして大いに羽を伸ばしてください。行政の方も見守ってくれているので、味方になってもらうと思った以上に遠くへ行けます。しっかりと連携をとってください。いろいろな人に会って話を聞くのはお勧めです。

小野（おの） 綾香（あやか）さん

協力隊として

| 着　任　地 | 岩国市
| 活動期間 | 2018年8月～2021年3月
| 活動内容 | 特産品の開発

現在の仕事

「Class Biz.」コーディネータースタッフ、
「ひとつぼ」代表

| ホームページ |
https://hito-tsubodepartment.stores.jp/

▲隊員時代：商品撮影中

特産品販売などを
オンラインで行う時の屋号
「ひとつぼデパートメント」▶

ひとつぼ
デパートメント

小野さんのあゆみ

- 2018.08 協力隊着任
- 2019.02 枯れたハスの繊維で作る織物「喜茄織」に出会う
- 2020.02 「岩国ブランド魅力浸透プロジェクト」開始
- 個人事業「ひとつぼ」開業
- 2021.03 協力隊卒業
- 2021.04 「Class Biz.」コーディネータースタッフとして就職
- 2022.05 出産